

平成19年度 行財政改革の成果

～町単独で持続できる行財政体質を目指して～

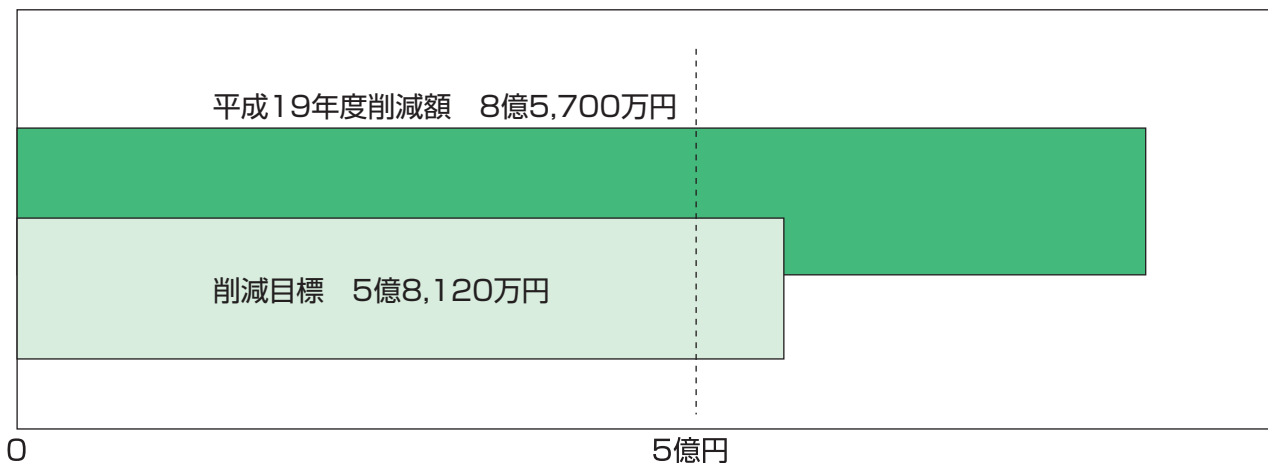
町では平成17年度から19年度までの3カ年を実施期間として、町民の皆様のご協力をいただきながら、「笠松町行財政改革推進プラン」に取り組み、事務の見直しや歳出抑制をすることで、この3カ年基金を取り崩すことなく、目標を大きく上回る成果を得ることができました。

しかし、地方交付税などの削減や、財政収支の均衡を目指した行財政運営により圧縮していた投資的経費の増加など、今後も町の財政は依然厳しい状況であることには違いありません。また、当町においては「次期ごみ処理施設建設」や「笠松競馬場存廃問題」のような、健全な行財政運営を推進するにあたって大きな影響を与える課題があり、財政状況が大きく変わることが予想されます。

平成19年度で行財政改革推進プランは区切りとなりますが、20年度以降も推進プランの目的であった、身の丈にあった財政運営ができる体制の構築を目標に、また単独による町政運営のためにも、自主財源確保につながる施策についてさらに検討するなど、将来においても持続的に発展する町を目指していくところであります。

平成19年度の削減額は8億5,700万円

行財政改革推進プランでは平成16年度当初予算の財源不足額5億8,120万円を3年間で解消することを目標に実施しました。19年度は8億5,700万円を削減することができました。



平成19年度の主な行財政改革の効果と内容

資源物の行政回収から集団回収への移行……▲5,404万円

- ・資源ごみ集団回収の実施(全町内)、収集委託料などの5%削減

国民健康保険特別会計繰出金の削減……▲7,253万円

- ・賦課割合の見直し(応能53:応益47)

投資的経費の削減……▲4億3,255万円

- ・道路整備費、施設改修工事費など費用の圧縮

人件費の見直し

- ・特別職 月額10%削減、収入役の廃止……▲1,769万円
- ・議会議員 月額2万円削減、期末手当加算率5%削減……▲901万円
- ・一般職 職員数削減(11人)、管理職手当20%削減、時間外勤務手当20%削減……▲2億4,431万円

その他(歳入確保)

- ・広告掲載の実施 巡回町民バス、バス回数乗車券、広報紙などへの広告掲載……146万円
- ・基金の運用……60万円